

「平成31年度に実施した仕事」の振返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 31 日

事業名称		私立幼稚園保護者に対する補助事業費〔幼稚園等園児保護者負担軽減事業〕										
予算科目	款	10	教育費	項	6	幼稚園費	目	1	教育振興費	事業番号	1	
事業の種別	☐ 市単独 ☒ 補助対象 ☐ 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	保育 課 保育・幼稚園 係					課長名	関田 孝志					
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	1 - 1			
【施策名】 学校教育の充実								総合計画書 (ページ)	31			
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)						
	私立幼稚園に幼児を通園させている、所得基準に該当する保護者。					→ 幼稚園の入園児童数。						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)						
	保護者が幼稚園に支払う入園料や保育料の負担を所得に応じて補助し軽減させることで、幼稚園教育の振興と充実を図る。					→ 幼稚園への保育料等の負担が軽減されることで、幼稚園教育を受けることができた児童の保護者数。						
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)						
	幼稚園教育の振興と充実を図るため、幼稚園に通園させている保護者に対し家庭の所得に応じて補助金を交付した。					→ 幼稚園への保育料等の負担が軽減されることで、幼稚園教育を受けることができた児童の保護者数。						
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標		令和3年度目標		
	対象指標	①の数値	人	1,001	962	875						
	成果指標	②の数値	人	1,001	962	567						
	目 標	②の目標値										
		目標値設定の考え方										
3 経費	事業費(実績)		円	77,495,600	75,827,500	62,973,292		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,310,000 円 時間単価は、4,300 円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 (退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	39,357,600	38,242,000	36,344,292						
		特定財源	円	38,138,000	37,585,500	26,629,000						
		(うち受益者負担)	円	0	0	0						
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.5	0.5	0.5						
		所要人数(再任用)	人	0	0	0						
		職員人件費(再任用以外)	円	4,126,500	4,122,000	4,155,000						
		職員人件費(再任用)	円	0	0	0						
事業費+人件費		円	81,622,100	79,949,500	67,128,292							
4 環境変化等	(1) 開始年度		H19 年度									
	(2) 環境の変化		令和元年10月に実施された幼児教育・保育無償化に併せて都要綱が改正され、補助金額表が変更された。									

事業名称	私立幼稚園保護者に対する補助事業費〔幼稚園等園児保護者負担軽減事業〕			
担当部署・課長名	保育	課	保育・幼稚園	係 課長名 関田 孝志

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 意見については特になし。			
6 市民協働	(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）			
	☐ 取り組んだ	取組手法：		
	☒ 取り組まない	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）		
	(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点			
7 課題	(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記） 算定方法が複雑になり、当補助事業に係る事務時間の短縮が課題である。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。			
	令和元年10月～3月分の給付については、システム上未対応の部分もあったが、通知等の作成は差込印刷により対応した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）			
	業務の要所要所で確認すべき事項をまとめたチェックシートなどの整備も必要である。			
8	施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。） 施策名： 学校教育の充実 ☒ なっている ☐ 環境の変化等により成果が減少している ☐ 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）			
9 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など） ☐ 拡大 ☒ 現状維持 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止 【取組内容】 チェックシート化したマニュアルを作成する。			
	(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等			
	チェックシート化したマニュアルを作成する。			